

# 令和4年度 益子町立七井小学校学校評価書

## 1 教育目標と目指す児童像

【学校教育目標】	【目指す児童像】	【校心】
○学ぶ	◇自ら学ぶ子	□なかよしの心
○鍛える	◇たくましい子	□なしとげる心
○思いやる	◇思いやりのある子	□いたわりの心

## 2 学校経営の基本方針

- (1) 新学習指導要領の趣旨や内容等を十分に踏まえ、児童の発達の段階を考慮しながら知・徳・体をバランスよく育むための教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 学校教育活動全体を通じ、心身ともに健康で安全な生活態度の育成に努める。
- (3) 家庭及び地域等との連携の下、信頼される学校づくりに努める。
- (4) 教職員一人一人が自分の職務に誇りと自信をもち、個々の強み（学校組織）を生かした熱意あふれる教育を展開する。
- (5) 健康管理や勤務時間を意識した「働き方改革」の推進に努める。

## 3 努力点と具体策

- (1) 「生きて働く確かな学力」を育むための学習指導の充実
  - ①授業の充実（めあての提示と振り返りの工夫、タブレットを含むICT機器の効果的な活用、TTの効果的な活用等）
  - ②自ら学ぶ学習習慣の確立（家庭学習の手引きの活用、保護者への啓発等）
  - ③個別指導・支援の充実（スマイル教室、TTの活用等）
  - ④漢字力、計算力向上のための指導の工夫・改善（ミニテストの実施等）
  - ⑤外国語及び外国語活動の充実（専科教員の活用と連携等）
- (2) 「たくましく生きる気力と体力」を育むための健康・安全教育の充実
  - ①教科体育、体力向上に向けた指導の充実（新体力テスト結果の活用、補強運動の工夫、外遊び・共遊の推進等）
  - ②給食指導の充実（完食の推奨、マナー・栄養指導、衛生・安全管理の徹底）
  - ③生活・交通・災害安全等に関する指導の充実（各種避難訓練、新型コロナウイルス感染症等各種感染症対策、危機管理マニュアルの活用）
  - ④教育相談の充実（定期教育相談期間の設定、スクールカウンセラーの活用等）
  - ⑤生活リズム確立のための指導の工夫・改善（ノーメディアデーの活用と家庭への啓発等）
- (3) 「優しさと思いやり」を育むための心の教育の充実
  - ①校心「なないの心」の意識化と日常的な実践（帰りの会や昼の放送での発表等）
  - ②読書活動の推進（読書タイムの活用、家読の推奨）
  - ③響き合うあいさつ、温かい言葉遣いの実践（あいさつチャンピオン表彰等）
  - ④芸術鑑賞、交流学习、宿泊学習の豊かな体験活動の充実
  - ⑤やまぶき班活動の工夫・改善（共働・共遊・共感の場の設定と実践）
  - ⑥「特別の教科 道徳」の充実
- (4) 地域に信頼される学校づくりの推進
  - ①迅速な情報の発信（学校・学年・保健だより、ホームページ等）
  - ②地域の教育力の活用（「なないっ子ネット」の推進、ボランティアコーディネーターとの連携等）
  - ③教育活動への保護者等の参加・協力（引率ボランティア等）
  - ④学校評価を生かした学校経営（自己評価、保護者・児童アンケート、学校関係者評価の実施、評価結果を踏まえたPDCAの実践）
- (5) 教職員個々のよさの発揮と参画意識の高揚
  - ①教師力の向上を目指す研修の充実（現職教育、研修会の主体的参加と内容等の共有）
  - ②教職員評価制度の充実（各種面談の確実な実施と目標設定・評価の工夫）
  - ③居がいのある職場環境づくり（風通しのよい雰囲気醸成、働き方改革の推進）

## 4 評価表

評価・・・ A…よい

B…どちらかと言えばよい

C…どちらかと言えば課題あり

D…課題あり

評価値の設定

○個人の評価点

A…4点

B…3点

C…2点

D…1点

○全体の評価点(平均点)

A…4～3.5点

B…3.5未満～2.5点

C…2.5未満～1.5点

D…1.5未満～1点

項目	評価項目	主な具体的取組	自己評価(教職員評価)		
教育課程	<p>○学校は明るい雰囲気、児童は生き生きと生活している。</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①日課の工夫を図り、児童が落ち着いて学習に取り組むとともに、休み時間に元気に外で遊ぶようにする。</p> <p>②行事を通して児童が成長できるよう、行事を励みに生き生きと生活できるようにする。</p> <p>【児童アンケート】 「学校に来るのが楽しいですか。」 A…74.1% B…20.5% C…3.4% D…2.0%</p>	<p>【評価】 A 12人 B 6人 C 0人 D 0人 A 平均 3.6点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の読書がすっかり定着し、落ち着いて一日のスタートをきることができた。年間を通して日課が大きく変わることがなかったため、複雑さがなかった。</li> <li>感染症対策を念頭に置きつつ、可能な限り行事を実施した。運動会では3年ぶりに保護者を入れての開催となった。行事を通して大きく成長した児童の姿を見ることができた。</li> <li>全児童が一堂に会しての業間の集会活動を行うことはできなかったが、ICT機器の整備に伴い、2学期からはリモートで実施することができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童と向き合う時間を大切にし、児童にとって居がいのある学校となるよう、行事を柱に諸活動を行っていく。</li> <li>集会活動をリモートで行う場合の、より効果的な方法を見だし、実践していく。</li> </ul>		
			<p>学校関係者評価(学校評議員用)</p>		
			<p>【評価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点</p>		
<p>・2回の授業参観をもとに、児童の意欲的な取組が見られた。</p> <p>・全クラス授業参観させていただいた。学校の雰囲気が明るく、児童も生き生きとしている。あいさつがしっかりとほつきりとしており、授業中は皆、落ち着いていて、勉強に意欲的である。</p> <p>・朝の読書は引き続きお願いしたい。本を読む習慣は早いうちから身に付けるとよいと思う。</p>					
学 校 運 営	<p>○学校・家庭・地域が一体となった取組を推進している。</p> <p>【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校支援ボランティアや地域の人材を有効に活用する。</p> <p>②学校・家庭・地域が協力し合って安全対策を推進する。</p> <p>【保護者アンケート】 「学校は、子供たちの安全対策(交通事故防止、防犯、情報セキュリティ、環境整備等)に熱心に取り組んでいる。」 A…44.2% B…48.2% C…6.2% D…1.3%</p>	<p>【評価】 A 9人 B 10人 C 0人 D 0人 B 平均 3.4点</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあったが、計画した校外学習は、ほぼ実施することができた。学校支援ボランティアの協力を得ながらの学習は限られた。飼育ボランティアの方々は、年間を通して活動に携わってくださった。ボランティアコーディネーターは常に学校のことを気遣ってくださった。</li> <li>交通指導員の皆様、スクールガードの皆様など地域の協力を得ながら、保護者と共に児童の安全対策を継続して講じることができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域の協力を得て、地域人材の活用と「コロナ禍における開かれた学校づくり」を推進していく。</li> </ul>		

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・地域の皆さんの協力体制が充実しており、飼育ボランティア8名の皆さんが動植物の愛護に努められており、児童の安全対策も講じられていた。
- ・毎朝、通勤で山王地区を通るが、スクールガードの方々が温かく子供たちを見守って登校させているので安心である。
- ・交通や飼育といった「目」を必要とするボランティアの方々の協力はとても大きいと思う。次年度の方針に書かれている地域人材の活用と「コロナ禍における開かれた学校づくり」に関しては、具体的なビジョンを立て、人材を集めてほしい。ボランティアだけに頼らず、外部講師として扱うべきだと思う。

○学校の公開や情報の積極的な発信・提供に努めている。

- ①学校を公開し、家庭との連携を一層深める。
- ② GoogleClassroom、ホームページや各種たよりなどを通して、情報を的確に発信する。

【評価指標】  
⇒保護者の肯定的回答  
80%以上

【保護者アンケート】  
「学校は、子供たちの様子を伝えている。」  
A… 48.2% B… 38.9%  
C… 9.7% D… 3.1%

【評価】 A 14人 B 4人 C 0人 D 0人  
A 平均 3.7点

【達成状況】

- ・ホームページ、GoogleClassroom、各種たより等を利用して、学校からの情報発信に努めた。ホームページは毎日更新し、校内のみならず地域への発信を意識した。GoogleClassroomには、こまめに写真等を掲載し、家庭との連携を深められるよう心掛けた。

【次年度の方針】

- ・感染症対策を踏まえた各種行事の運営を検討し実践していくとともに、引き続きホームページや GoogleClassroom にて情報発信していく。

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・Webサイトの情報、特にブログは常に新しい情報がアップされていて、学校全体をのぞける良さがあり、先生方の細やかな対応に感謝したい。Webサイト自体のデザインに対しては、工夫と現代性をもっと取り入れ、プロのWebデザイナーと共働してほしい。
- ・ペーパーレスの時代、IT人材の確保が激化しているこの世の中、早い段階からITに慣れることは大切だと考える。
- ・令和5年2月5日の下野新聞に「七井小児童が植樹」アカマツが茂る里山に！が掲載された。6年生63名が「ましこアカマツ復活プロジェクト」に参加し、本当にすばらしい環境学習の実践である。

○信頼される学校づくりを目指して積極的に教育活動の改善に努めている。

- ①学校評価を適切に実施するとともに、学校評価の結果を教育活動の改善に生かしていく。
- ②保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ③教師力向上を目指す校内研修等の充実を図る。
- ④組織としての教育機能の強化を図る。
- ⑤教職員の持ち味の発揮と意欲的な職場環境づくりの推進を図る。

【評価】 A 11人 B 8人 C 1人 D 0人  
A 平均 3.6点

【達成状況】

- ・学校評価の結果を踏まえ、問題意識をもって事にあたった。
- ・児童および保護者アンケートから見えてきた課題は、個別に対応したり、改善策を検討したりした。

【次年度の方針】

- ・学校評価や児童および保護者アンケートの結果ですぐに改善できるものは年度内に実施し、改善点は、次年度の組織や努力点・具体策の中に反映できるよう努める。

【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	【保護者アンケート】 「学校は、生活・学習指導を熱心に行っている。」 A… 55.8% B… 37.2% C… 6.6% D… 0.4%
-------------------------------	---

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 A A4人 B1人 C0人 D0人 平均3.8点

- ・先生方は電子黒板を使用して、児童に分かりやすい学習指導で、教材準備にご苦労されており、丁寧なご指導である。職員室の「凡事徹底」の張り紙、先生方の教育に対する熱意と情熱を感じた。
- ・教育の指導方針は全国で統一的に行ってほしい。地域の個性を打ち出すことだけでなく、地域における教育格差を生まないように、子供たちと同様に先生方が常に学べる時間と環境をつくってほしい。（これは文部科学省へですが・・・）

児童の状況

(生活) ○明るくあいさつし、居がいのある学校生活を送っている。	①人権教育を考慮し、「明るいあいさつ」、「温かい言葉遣い」、「さん」で呼ぶ環境づくりの徹底を図る。 ②各月ごとの心の健康チェックや、学期ごとの教育相談週間を実施するとともに、スクールカウンセラーの積極的な活用を図る。
【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	【児童アンケート】 ア「自分から進んであいさつをしていますか。」 A… 69.6% B… 23.5% C… 5.5% D… 1.4%
⇒児童の肯定的回答 90%以上	イ「友達やまわりの人にやさしくしていますか。」 A… 75.1% B… 22.2% C… 1.4% D… 1.4%

【評価】 A 8人 B 9人 C 0人 D 0人 平均 3.4点
【達成状況】 ・あいさつは喫緊の課題であり、教職員が率先してあいさつをしたり、全教育活動において、あいさつの大切さについて指導したり、意識啓発に努めた。 ・学級活動を通して、帰属意識や規範意識を高める学級づくりを心掛けた。 ・毎月の心の健康チェックアンケートを行うことで、問題の早期発見につながった。教育相談は実施期間以外にもピンポイントで行うことができた。スクールカウンセラーの指導をもとに配慮を要する児童の支援にあたることができた。
【次年度の方針】 ・気持ちのよいあいさつが交わされる学校を目指し、今後も学校全体で指導していく。 ・アンケートや教育相談の実施方法について再検討するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの効果的な活用を図っていく。

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 A A5人 B0人 C0人 D0人 平均4点

- ・子供たちみんながあいさつができる印象があり、とても素晴らしいことだと思う。
- ・あいさつ、良好です。なお、あいさつの意義を理解させて「相手の目を見て適切な声の指標」でお願いしたい。

○規則正しい生活をし毎朝朝食を食べている。	①十分な睡眠を確保し、規則正しく生活しているかの生活チェックを行う。また、個別の指導を行う。 ②朝ご飯を食べ、元気に家を出ているか等、生活チェックを行うとともに、個別の指導を行う。
-----------------------	---

【評価】 A 6人 B 12人 C 0人 D 0人 平均 3.3点
【達成状況】 ・各種おたよりによる保護者への啓発や生活チェックを行うことは、家庭への意識付けに効果的であった。 ・生活チェックや個別の指導を行うことにより、児童の生活の実態を把握することができた。 ・学期始めの「養護教諭の話」は、児童の保健に対する意識向上につながった。

<p>【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90 %以上</p>	<p>【保護者アンケート】 「家庭では、基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓、時間を守る)や衛生習慣(手洗い、歯みがき)などを徹底している。」 A… 44.2 % B… 49.1 % C… 5.8 % D… 0.9 %</p>	<p>【次年度の方針】 ・個人懇談や保護者会等、折に触れて、規則正しい生活習慣の確立の重要性を話題にし、各家庭の協力が得られるよう保護者に働きかける。</p>
---	---	---

学校関係者評価 (学校評議員用)

【評価】 A A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣の確立をお願いしたい。小学生でもSNS等を利用しているので、家庭と共に注意して行ってほしい。

<p>○運動や外遊びを進んで行い体力が向上している</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90 %以上</p>	<p>①体育の授業展開を工夫するとともに、実施する領域をしっかりと吟味し、運動の楽しさに気付き理解させ、その動きが身に付くよう努める。 ②外遊びや共遊ができる時間を確保する。</p> <p>【児童アンケート】 「休み時間は外で元気に遊んでいますか。」 A… 70.6 % B… 21.2 % C… 6.8 % D… 1.4 %</p>	<p>【評価】 A 8人 B 8人 C 1人 D 0人 平均 3.4 点</p> <p>【達成状況】 ・マラソン大会やなわとび検定等、体育的行事に向けて、児童の意欲を高める工夫がなされた。 ・業間および昼休みには、外遊びの時間を十分確保することができた。自然に異学年が交じって遊ぶなど、好ましい傾向と言える。また、児童と共に遊ぶ教職員の姿も見られた。</p> <p>【次年度の方針】 ・「体力向上プログラム」の有効な活用方法について実践しながら考えていく。</p>
--	---	--

学校関係者評価 (学校評議員用)

【評価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点

・体を動かすことの継続指導をお願いしたい。  
・今後も屋外活動を多く取り入れ、子供たちの体力向上にご尽力願いたい。  
・直接の意見ではないが、七井小のジャージが男性・女性で色分けされていることが不自然である。また、現代、もっと性能が良い布地があるにも関わらず、40年近く変わっていないことに問題がある。個人的には指定のジャージである必要はなく、動きやすいものでチーム分けなどはビブスなどを用いた方がよいと思う。

<p>○教職員は、協力し合っ て熱心に教育に当たっている。</p> <p>【評価指標】</p>	<p>①「分かる・できる・楽しい授業」づくりに努める。(「めあて」の提示・「ふりかえり」等の実践) ②指導方法や指導体制を工夫・改善する。 ③学校課題である Chrome book の効果的な活用についての研修を行い、授業力の向上に努める。</p> <p>【児童アンケート】</p>	<p>【評価】 A 6人 B 12人 C 0人 D 0人 平均 3.3 点</p> <p>【達成状況】 ・学習指導主任および学力向上推進リーダーを中心として、全職員が授業改善に取り組んだ。今年度も学力向上コーディネーターの指導を受けることにより、授業力向上への意識が高まった。 ・「めあて」、「ふりかえり」の実践が定着し、TTの効果的な活用方法について工夫や改善が見られた。 ・Chromebook の効果的な活用に向けて、教材研究がなされた。研究授業の前にはプレ授業を行う等前向きな姿が見られた。 ・授業の中で児童が発表できる場面を意図的に設定してきたが十分とは言えない。</p> <p>【次年度の方針】</p>
---	---	---

⇒児童の肯定的回答 90%以上	「授業の内容はよくわかりますか。」 A… 70.0% B… 24.9% C… 3.1% D… 2.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Chromebook</b> を授業のどの場面で活用していくのか、さらに研鑽を積んでいく。</li> <li>• 各種研修等を通して、また、相互授業参観等によって、教師のさらなる指導力向上を図っていく。児童が、自分の考えをしっかりと発表できるような授業を仕組んでいく。</li> </ul>
⇒児童の肯定的回答 70%以上	【児童アンケート】 「自分の考えをしっかりと発表できますか。」 A… 43.7% B… 31.7% C… 18.4% D… 6.1%	

**学校関係者評価（学校評議員用）**

【評価】 **A** A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

- 先生方が熱心に児童と触れ合っているのが感じられ、分かる授業に向けて取り組まれている。
- 自分の意見をしっかりと発表できる指導をお願いしたい。
- 個々に配られた **Chromebook** の活用は、見学させていただきよく分かった。発表や記録といった **output** のデバイスがあまりないように思える。動画や写真の編集における専用の機材や3Dプリンターなど教育の場だからこそ、最新であってほしい。

○家庭学習の習慣が身に付いてきている。	①発達の段階に応じて、家庭学習の仕方を指導する ②自ら学ぶ学習習慣を身に付けるための、学校と家庭との学習サイクルの定着を図る。	【評価】 A 2人 B 15人 C 0人 D 0人 <b>B</b> 平均 3.1点 <hr/> 【達成状況】 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「家庭学習の記録」を継続するとともに、「家庭学習の手びき」にて自主学習の内容を示し、児童が自主的に学習できる環境を整えた。</li> <li>• 自主学習が定着してきた児童がいる一方で、なかなか習慣化しない児童もいた。</li> <li>• 家庭学習の実施方法等について、学校から家庭への働きかけが十分でなかった。</li> </ul> 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 家庭学習のさらなる定着を図るために、発達の段階に応じた家庭学習法の研修の充実、実施を図り、家庭との情報共有を密にしていく。<b>Chromebook</b> の持ち帰りをを行い、AIドリルを上手に活用していく。</li> <li>• 今後も家庭への啓発と協力依頼を継続する。家庭学習の内容や方法についての取組は個人差があるので、個に応じた丁寧な支援をしていく。</li> </ul>
【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 50%以上	【保護者アンケート】 「お子様は、進んで読書や家庭学習をしている。」 A… 23.0% B… 36.3% C… 31.9% D… 8.8%	

**学校関係者評価（学校評議員用）**

【評価】 **B** A 2人 B 3人 C 0人 D 0人 平均3.4点

- 実際に通常の計算ドリルよりAIドリルの方が取り組みやすく、**Chromebook** のますますの活用に期待したいと思っているが、家庭環境では使用できない子も中にはいると思うので、なかなか難しい。
- 個人的には、宿題は必要ないと思っている。

○読書の楽しさを知り継続的に読書をしている。

①読書記録を工夫することや読み聞かせにより、読書習慣の形成や読書意欲の向上を図る。

②「家読の日」を設定することにより、家庭での読書が習慣化するよう働きかける。

③「学校司書」による効果的な児童への支援を考え図書室の有効活用を図る。

【評価指標】  
⇒児童の肯定的回答  
80%以上

【児童アンケート】

「読書は好きですか。」

A… 62.8% B… 20.8%  
C… 8.2% D… 8.2%

【評価】 A 6人 B 10人 C 1人 D 0人  
B 平均 3.2点

【達成状況】

- 朝の読書タイムの設定により、だれもが毎日きまった時間に読書する習慣が身に付いた。
- 「本の貯金箱」や「家読カード」を利用することで、読書への意識が高まる一助となった。低学年の児童にとって「本の貯金箱」は効果的であった。

- 月1回の「家読の日」は、浸透しつつある。
- 「とっくん号」からの貸し出しにより、より多くの本に触れることができた。
- 「必読図書」の選定を行ったことで次年度の読書意欲の向上が期待される。

【次年度の方針】

- 図書館情報システムが導入されることにより、図書室へ足を運ぶ機会が増えるようにする。
- 学校司書の効果的な活用方法を検討し、実践していく。
- 読み聞かせボランティアへ要請し、読み聞かせの回数を増やしていく。図書委員会や職員による読み聞かせも推進していく。

### 学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 A A 3人 B 2人 C 0人 D 0人 平均 3.6点

- 朝の読書タイム設定や、「本の貯金箱」や「家読カード」など、本に親しむ工夫がすばらしく、児童にこれからも読書の楽しさを知ってほしい。
- 「本を読みなさい」とよく言われるが、「本を読むとこういった良い点がありますよ！」と指導するのも良い。
- 語彙力、表現力を身に付けたり、間接的な経験ができたりと人間力をつける読書の習慣は大切にしたい。
- 学校だけのことではないが、移動式の図書とかではなく、本（読書）を中心とした行政の教育意識が低すぎる。子供の学ぶ環境＝デザインに力を入れてほしい。七井小の朝の読書タイムや、本の貯金箱などのアイデアはすばらしいと思う。ただ、図書室や教室内での本のあり方、置かれ方、読書のための空間（例えば図書室には植物を置くことや、専用の照明・いすを入れるなど）を導入してほしい。また、図書だけでなく、映画、音楽、マンガなど幅広く文化芸術に触れる場をつくってほしい。